

各 位

会 社 名 **株式会社エリアクエスト**

(コード番号：8912 東証マザーズ)

代 表 者 名 代表取締役 清 原 雅 人
お問合せ先

常務取締役管理部長 伊 藤 真 奈 美

TEL：03-5794-0220

特別損失の発生及び業績予想の修正に関するお知らせ

この度、当社において、特別損失が発生いたしますので、その概要をお知らせするとともに、平成 21 年 2 月 10 日付において発表いたしました平成 21 年 6 月期通期の業績予想につきまして、下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 特別損失の発生及びその内容

本社移転に伴う費用の計上（連結・個別）

平成 21 年 4 月 10 日付において発表しました本社移転に伴う特別損失について精査した結果、下記のとおり 45 百万円が第 4 四半期会計期間に発生することが見込まれます。

事務所移転費用 22 百万円

（平成 21 年 4 月 10 日付発表いたしました事務所解約損 13 百万円も含まれております）

固定資産除却損 23 百万円

2. 業績予想数値の修正

(1) 連結

平成 21 年 6 月期通期連結業績予想の修正（平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	1,245	54	51	12
今回予想 (B)	1,008	88	88	222
増減額 (B - A)	237	142	139	210
増減率	19.0%	-	-	-
(ご参考：前年同期実績)	1,015	311	307	556

(2) 単体

平成 21 年 6 月期通期個別業績予想の修正（平成 20 年 7 月 1 日～平成 21 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回予想 (A)	291	200	200	264
今回予想 (B)	291	180	180	300
増減額 (B - A)	-	20	20	36
増減率	-	-	-	-
(ご参考：前年同期実績)	413	161	155	496

3. 修正の理由

世界経済の悪化から、景気先行きに対する不透明感が強まっており、当社を取り巻く環境に関しましても厳しさが見えてまいりました。

不動産ソリューション事業においては、各テナントの店舗スクラップが加速し仲介案件の依頼が増加しつつも、景気後退によるテナントの新規出店意欲の減少が鮮明となり各案件の成約に至るまでのスピードが鈍化し、業績回復の減速を強める状況となりました。結果、連結売上高の予想数値を1,008百万円に修正しております。当社といたしましては、増加した案件を、新たなテナント開拓により早期成約に努めることが業績回復につながると考えております。

連結営業利益及び連結経常利益の減少は、上記売上高の減少によるものでありますが、本社移転による地代家賃の減少等により、大幅なコスト削減が進んでおり、売上高の減少に比べて営業利益及び経常利益のマイナスを圧縮しております。

また、1. 特別損失の発生及びその内容のとおり本社移転に伴う費用として45百万円を特別損失として計上する見込みであります。結果、第2四半期会計期間に計上済の投資有価証券評価損等とあわせて特別損失を133百万円計上する見込みであり、連結当期純損失が222百万円となる見込みであります。

なお、単体につきましては、上記理由と同様、特別損失の発生に伴い当期純損失を300百万円に修正しております。

業績予想につきましては、本資料の作成日現在において入手可能な情報に基づいて算定しております。今後の経済状況等の変化により、実際の業績は異なる可能性があります。

以 上